



～ マレーシアにおける北海道産食品の現状 ～

1. マレーシアとは

マレーシアは、マレー半島とボルネオ島の一部から成り、面積は約33万平方キロメートル(日本の国土の約9割に相当)に、マレー系69%、中国系23%、インド系7%の多民族が暮らしています。気候は赤道に近い為、熱帯雨林気候に属しており、一年を通じて常夏の気候です。

マレーシアの人口は3,258万人と決して多くはないですが、1人当りGDP(国内総生産)が1万米ドルを超え、年間世帯可処分所得が35,000米ドル超の富裕層人口が総人口の2割を占めるマレーシアは、ASEAN(東南アジア諸国連合)の中でシンガポールに次いで経済発展が進んでいる国です。

マレーシアでは、日本食は富裕層のみならず中間層向けのカジュアルなものまで幅広く、寿司・刺身など定番の日本食の他、ラーメン・焼き鳥・とんかつといった大衆的な専門店や居酒屋スタイルの店舗も出店しています。富裕層や中間層といった所得階層は、その大半が中華系(非イスラム教徒)で占められており、ノンハラ商品の販売も可能です。



2. マレーシアにおける北海道の認知度

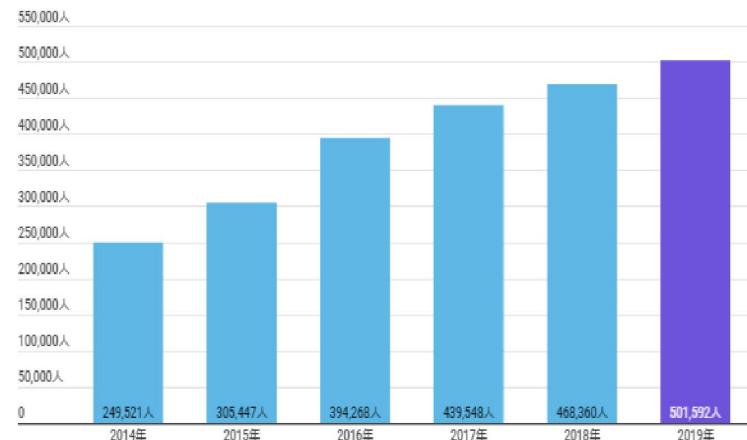
1977年よりスタートし、今では3万人以上の来場者を誇る世界最大級の盆踊り大会が毎年マレーシアの首都クアラルンプールにて開催されています(2020年はコロナ感染拡大防止の観点から開催中止)。弊社が2017年に盆踊り大会の来場者200人を対象にアンケート調査を行ったところ、「北海道」の認知度は100%でした。

また、エアアジアX(格安航空会社)が2015年10月1日からクアラルンプール～新千歳線を就航し、多くのマレーシア人が北海道を訪れるようになった事から、マレーシアでは「北海道」は一種の人気ブランドとして認知されています。

北海道の認知度が高い理由として、マレーシアでは見る事が出来ない【雪景色】、見渡す限りの【ラベンダー畑】、新鮮な【海鮮料理】が挙げられます。

なお、「北海道」の認知度が高い事を利用し、ケーキ店の店名や日本食レストランの店名等に「北海道」の名前だけをブランドとして使用している店も多く見られます(北海道チーズタルトや北海道市場等)。

訪日マレーシア人観光客数(2014年～2019年)





3. マレーシアにおける日本産食品の現状

マレーシアにおける日本産食品の動向について明らかにする為、在マレーシアの代表的な日本産食品輸入卸売業者・小売業者10社へ質問をしたところ、コロナ禍で消費者は「食の安心・安全、健康」に一層注目するようになり、それにより日本産食品の需要は以前より高まりをみせています。

また、コロナ禍で自由に旅行へ行けない消費者の「日本で食べたあの商品をまた食べたい」や「日本で買ってきたあの商品を購入したい」等々の要求を満たす為、**北海道フェア**や**関西フェア**等「**日本産食品フェア**」をオンラインでの販売を中心に開催している輸入卸売業者・小売店が多数見受けられます。

インスタントラーメンやレトルトカレー等の加工食品、スナック・お菓子類、調味料等が日本産食品の中で特に需要が高いです。



北海道フェア @伊勢丹KLCC

4. マレーシアにおける北海道産食品の現状

コロナ禍でロックダウンが続いているマレーシアでは現在、レストラン内での飲食は禁止され、レストランはテイクアウト又はデリバリーのための営業が可能となっています。

そんな中、水産物では**ホタテ・イクラの醤油漬け・鮭**が良く流通しており、**北海道産イクラ**や**北海道産ホタテ**がレストラン等で提供されています。

青果物では、**北海道産ながいも**が薬膳料理の材料として、健康志向の強い中華系富裕層に人気です(@ドン・キホーテ)。

また、マレーシアで販売されているメロンは甘味が薄いのですが、北海道産の**メロン**はとても甘くジューシーな事から、高級フルーツとして大変人気があります(@MBG Fruits*1)。

お菓子では、**じゃがポックル・白い恋人・とうきびチョコ**等は商品自体に根強いファンがついており、中華系マレーシア人を中心に人気を博しています。(@正直屋*2)

その他食品では、**北海道のご当地インスタントラーメン**が良く売られています。

お菓子やインスタントラーメンはマレーシアの中級・高級スーパーや日本食料品店等で日本の約2倍程度の価格で販売されています。

日本食レストランのデリバリー提供例
@北海道食堂(北海道産品を提供)

*1 MBG Fruits: マレーシアのフルーツショップチェーン最大手。輸入果物を含む250種を取り扱う。

*2 正直屋: マレーシアで展開している、人気の日本食材専門店。

【著者紹介】ASIA INFONET (M) SDN. BHD. (<https://www.asiainfonet.com/japanese-food/>)

日本産食品のマレーシアへの輸出を希望される企業様へ商談のアレンジ及びテストマーケティングといったマレーシアでの食品業界への商流構築のサポートを行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

【発行者】一般財団法人さっぽろ産業振興財団 販路拡大支援部 URL: <https://sec.or.jp/hanrokakudai/international/adviser/malaysia/>

マレーシアへの食品販路拡大に関する支援をご希望の方は、上記 HPで詳細をご確認の上、利用申込書をお送りください。

※この情報はアドバイザーの独自調査によるものです。当財団はこの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありませんのでご了承の上ご活用ください。